

北海道ブロック国体 競技・審判上の確認事項

競技委員長 石 崎 賢

審判委員長 印 藤 智 一

1 競技規則について

本大会は、平成 30 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則及び競技要項により実施する。

2 競技日程について

競技日程はプログラム記載のとおり

3 競技方法について

競技は全てトーナメント戦 3 セットマッチとする。
ただし代表決定戦のみ 5 セットマッチでおこなう。(3 ボール制)

4 使用球について

今大会男子はミカサ製カラーボール「MVA300」、女子はモルテン製カラーボール「V5M5000」を使用する。

5 競技開始時刻について

- (1) 第 1 試合は 11 時 00 分とする。(10 時 45 分プロトコル) 以降は追込み方式をとる。
- (2) 第 2 試合は、前試合終了 30 分後にプロトコルを開始する。
- (3) 開会式終了後は、第 1 試合の当該チームがコートを優先的に使用できる。
- (4) 公式練習前のウォーミングアップでのネット及びボールの使用を認める。
- (5) 試合開始時刻を 15 分経過してもチームの選手が 6 人揃わない場合はその試合を没収とする。

6 リベロについて

- (1) リベロは、他の競技者と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- (2) リベロは 2 名までエントリーすることができる。リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることはできない。
- (3) 各セットの開始前には、リベロは副審によるスターティングラインアップの確認が終わり、スターティングプレーヤーとのリプレースメントが許されるまでコートに入ることはできない。
- (4) サービスのホイッスルの後に行われるリプレースメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレースメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。この時のリプレースメントは認められる。
- (5) リベロが 1 人しかいなくなった場合や、1 人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

7 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

- (1) 競技規則通りの選手番号をつけた統一されたユニフォームを着用のこと。JVA が公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングする。

- (2) パワーパンツ、アンダーシャツ等（サポーター以外）を着用する場合はユニフォームからはみ出してはいけない。
- (3) ソックスについては、くるぶしが完全に隠れるものを着用しなければならない。くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は禁止とする。ハイカットシューズの場合は、シューズから出るソックスを着用すること。色、デザインは、チームで統一されているものが望ましい。

8 チームメンバーによる軽度の不法な行為は、2段階で処置される。

- (1) ステージ1： ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
- (2) ステージ2： 該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。この警告はそれ自身が制裁ではないが、その試合においてそのチームメンバーが（さらにチームが）次からは罰則になることを示している。これは記録用紙に記録されるが、直ちに罰則を受けることはない。

9 チーム構成及びベンチ着席について

- (1) チームの構成は、有効にエントリーされた監督1名、選手12名の競技者、計13名とする。
- (2) 代表者会議にて競技者を再エントリーすることができる。
- (3) 監督は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員のいずれかの資格を有する者であること。ただし、今大会は北海道バレーボール協会公認コーチの有資格者を認める。

10 体育館の開館時間について

- (1) 会場の開館時間は8時00分とする。なお、練習開始は8時30分とする。
- (2) 開館後、開会式まではコート内で練習することができる。各チーム譲り合って使用すること。

11 練習コートについて

練習コートは設けていない。

12 フロアモッピングについて

- (1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。
- (2) ただし、エントリーメンバー以外のメンバーを最大2名クイックモッパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。
- (3) タイムアウト中、及びセット間にモップを使用しても構わない。

13 その他

- (1) コートオフィシャル（線審4名、点示員2名）について男女とも開催地役員が担当する。
- (2) ベンチには飲料、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースは試合中ベンチには置かず、当該コートのフリーゾーン端に置くこと。
- (3) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (4) 今大会の施設を利用する際、喫煙については各施設の利用規則を厳守のこと。